

諸塚村立諸塚中学校

事業の実施時期：令和4年5月16日から令和5年2月28日

活動の概要

4R活動活性化のために、各教室に分類別ゴミ箱を新しく設置した。また、校内にエコキャップ運動箱の設置と使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収ボックスを設置した。その際、エコキャップ収集運動については、本校オリジナルの啓発マークを生徒が作成した。SDGsに関して、株式会社シンク・オブ・アザーズ代表取締役の難波裕扶子氏を講師に全校生徒対象に講話を実施した。図書室にはSDGsに関する書籍のコーナーを設置した。

SDGsの視点：「12 つくる責任 つかう責任」 「4 質の高い教育をみんなに」

1 学校の概要

本校生徒は、明るく素直で、落ち着いた学校生活を送っており、「あいさつ日本一」を目指し、常時出会った人に挨拶を欠かさない礼儀正しさをもっている。また、少人数学校の良さをいかして、生徒間の仲もよく、学校行事等にも積極的に取り組んでいる。

本校生徒には、「十五の春」という言葉がある。高等学校が遠隔地にあるため、本校を卒業後、進学の際には親元を離れ自立しなければならないという、中山間部ならではの課題がある。真に自立できる生徒を育て、社会に送り出すためには、生徒自身が自らの目標を掲げ、目の前の困難な状況を正面に受け止め、諦めずに立ち向かう態度を育むことが必要である。そのために、教師と生徒、生徒同士、教師相互、教師と地域、学校と地域それぞれの信頼関係を基盤として、「家庭や学校から信頼され、地域とともにある学校」を目指している。

2 活動のねらい

本校の生徒が地域のため、環境に配慮した貢献活動を行う。また、SDGsの啓発を行っている方の講話やワークショップを通して、環境に対する意識を高めていく。さらに地域の方々への連携を進めながら環境活動を行うこ

とで、未来のために今こそ行動を起こさなければならないことに気づき、考え、行動できる生徒を育成する。

3 活動内容

(1) 分類別ゴミ箱の設置

古くなっていた各教室のゴミ箱を新しくし、さらに分別マークを明記した。

村が「燃えるゴミ」「プラスチック」を分別することを定めているので、教室内でも生徒の意識を高めることができている。

(2) 使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収ボックスの設置

「アイシティ eco プロジェクト」へ参加し、本校の玄関に回収ボックスを設置した。担当者が村の公民館長会へ参加し、啓発資料を配付し、説明を行って協力を依頼した。各教室にも小型回収ボックスを設置し、常時意識づけを行った。学校全体だけでなく、地域全体でも、村会報で協力を呼びかけるなどの広報活動を行った。



小型回収ボックス



大型回収ボックス

(3) エコキャップ運動箱の設置

村が行っているエコキャップ運動に貢献しようと、学校にエコキャップ運動箱の設置を行った。各公共施設にも運動箱の設置を依頼した。

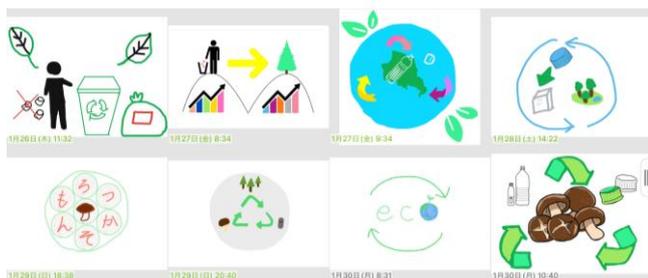


(4) オリジナルマークの作成

(エコキャップ運動)

1人1台端末を活用して、全校生徒にエコキャップ運動を啓発する本校オリジナルマークを作成した。

下は、生徒が提案したマークの一部である。



オリジナルマークについては全校で吟味し、1つのマークを運動箱へ貼り付けることとした。

(5) SDG s に関する書籍コーナーの設置

図書担当と連携して、SDG s に関する書籍を購入し、図書室に特設コーナーを設置した。最も目立つ入り口近くに設置し、多くの生徒が手にする様子が見られた。

全校生徒誰でも読みたい時に読むことができ、SDG s の視点、「4 質の高い教育をみんなに」にもつながると考える。



(6) SDG s 講話・ワークショップ

株式会社シンク・オブ・アザーズ代表取締役の難波裕扶子氏を講師として招き、全校生徒と全職員を対象に講話とワークショップを実施した。ワークショップはSDG s カ



ードを用いた協議を行った。



【講話・ワークショップ後の生徒の感想】

いつも捨ててしまうものに目を向け、それを再利用して生活に生かすという小さな取組だったので、正直こんな小さなことでも貢献できているのかと思っていました。だけど、難波さんの「1人1人が主役。」という言葉聞いて、どんな小さなことでも自分にできることや主役の私が良いと思える取組をしっかりとやろうと思うことができました。

4 成果と課題

(1) 成果について

生徒をはじめ教員や地域住民が環境へ配慮した様々な知識や活動を知るよい機会となり、普段の生活でもSDG s に貢献できる取組に携わることができた。

(2) 課題について

今後は、生徒一人一人がSDG s の視点で取り組みたいことを考え、発信する学びへと発展させていく必要がある。

学校名： 諸塚村立諸塚中学校

住 所： 東臼杵郡諸塚村大字家代3292

電話番号： 0982-65-0013

E-mail： moro-tyu@r327.jp